

1988年3月

第165号

日本共産党・革新共同府会議員団

府会だより

発行

日本共産党・革新共同府会議員団
京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内
☎ 直通(451)8621、または府庁(451)8111
内線2728、2729

発行責任者 石川 錠一



▲緊急申し入れを行う（左から）西山・
岩田・三木各議員

関西電力・福井県原子力発電所の重大な危険を はらむ「出力調整試験」に関する緊急申し入れ

関西電力は一九八六年一月一日から四日間、福井県の原子力発電所美浜一号機、三号機、高浜四号機、一九八七年の一月一日から四日間、同大飯二号機の四機の原子力発電機の「出力調整試験」を営業運転中行なったことを公表した。このほかにも福井県の調べで、一九七五年以来、国民に隠れて営業運

転中に出力を急速に低下させる極めて危険な「出力調整試験」を十二回にわたって行なっていたことが明らかとなつた。

すでに、関西電力は、昨年来、福井県の四機の原子力発電機の主要部機

である蒸気発生機内に、政府と 국민に隠して新たなる部品を取付けた工事を

行ない、この部分の脱落が原因で、運

転中の原子炉が緊急する事故が発生し、撤去するよう厳重注意を受けるという。

原子力発電所の安全運転に反する重大な背信行為を行なっている。

よつてつきの点について本府がた

だちに必要な措置を取り、府民の安全

に責任ある立場を貫らぬくことを求め

るものである。

記

一、今回の「出力調整試験」についての事実経過を本府の責任においてただちに調整し、必要なデータ入手すると共に議会および府民に報告する。

一、関西電力に対して、こうした重大な危機をはらむ「出力調整試験」を府民に隠して実施した事について嚴重に抗議するとともに、今後、こうした危険な「試験」などが行なわれることがないよう、原子力発電所の安全対策と事故時の対応について、

関西電力との適切な連絡・協議に万全を期すこと。
一九八八年一月二九日
日本共産党・革新共同京都府議会議員団
京都知事 荒巻慎一殿

1 福井原発の「出力調整試験」に関する申し入れ

2・4 「新・府婦人行動計画」策定にあたっての申し入れ

5・6 十二月定期会を終えて

(国長談話)

7・9 十二月定期会の討論

10・13 六十三年度府当初予算案について（見解）

13 KBS京都「政治を語る」
(西山)